

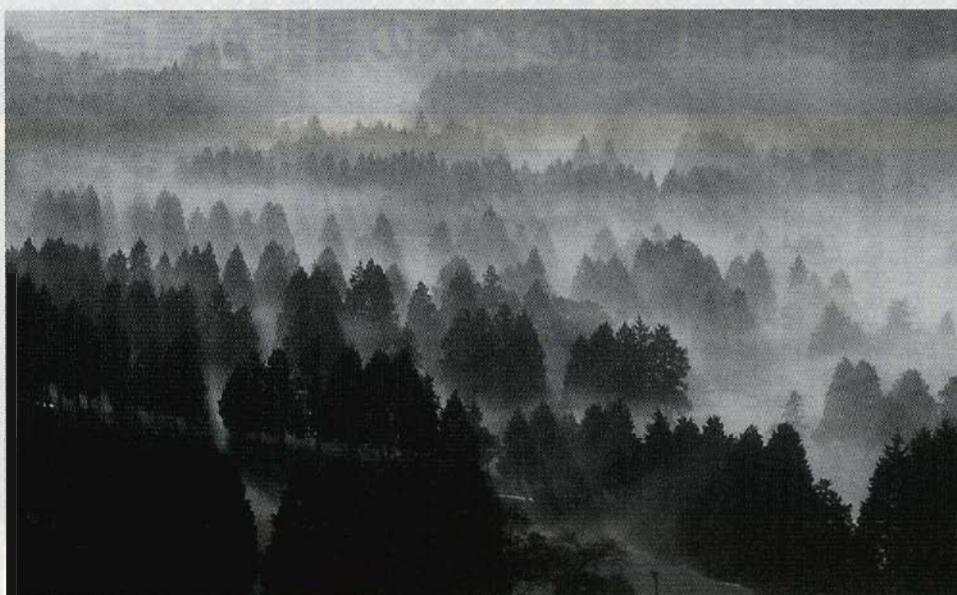
町村週報

(町村の講読料は会費の中に含まれております)

2554号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955
発行人 谷合靖夫：定価1部40円・年間1,500円（税、送料含む） 振替口座00110-8-47697 <http://www.zck.or.jp>



朝靄の中での撮影（澤地弘氏・箱根町役場）

「競争試験の目的及び方法」、「任用候補者名簿の作成」といった言葉が並ぶが、虚ろなまほろしである。

日本の自治体職員の昇任や配置転換を決定する勤務評定には、まだ科学的な測定システムがあるとはいえない。結局、従来の年功序列の順番をじつと待つか、あるいは、議員や一部の幹部職員のお好みで、ブラックボックスの中で決定されるといつても過言ではない。職員の人事裁量権を持つはずの首長ですらブラックボックスを避けない自治体もある。

れるようになつた。勤務評定の本人開示も進み、一〇〇四年に人全裁判官の約5%、不服を申し出た裁判官も少なくない。果たして、自治体職員にはその勇気があるだろうか。

将来、公務員給与が勤務評定で決められる時代が到来する。自治の土壤さえ培われていない自治体では、イビツな勤務評定の枠組みだけが先行し、物言えずに苦しむ自治体職員が増えるだけではないのだろうか。

桜花爛漫の下の憂鬱

九州大学大学院法学研究院教授

木佐茂男

戊男

今年も自治体職員はとつてうつとうしい人事異動の季節がやってきた。私は、全国に自治体職員の知人がいるが、ひと味違つた人脈、経験、発想、努力、自主研究などを特徴としている人が多い。しかし、そういう人ほど組織の中で能力を発揮できず、適所で働いているとは言いたい。例外はあるが、組織で高く評価され、出世するタイプは、自分の考え方を主張せず、人間関係を重視する人が多いように感じる。

るし
詐欺される本人は当然
自己情報を知らない。自己の人事処遇に不服を申立てれば、同僚
が眉をひそめる。
組織の3大資源はヒト、モノ、カネ。
「モノ」と「カネ」は情報
公開制度を通じて多少は住民の
監視の目が届くが、およそ「ヒト」
の有効性、有用性、効率性の客観
的基準がない。
ドイツは、戦後早くから勤務評
定の本人開示・複写交付・反論権
記載も保障していて、もつとも科
学的な人事管理を行つている国

山本会長が市町村の実態把握を要求
〔介護保険制度の被保険・受給者等
三位一体の改革と地方行政
東京大学大学院経済学研究科
行政評価のルーティーンワーク化〕
町村週報主要索引（平成18年1月～3月
すべては子どもたちのために！
政策レーダー

熊本県芦北町長 竹崎一成
栃木県高根沢町 神野直彦

(15)(13)(12)(9)(4) (2)

◎写真募集◎
本誌表紙に掲載の写真を募集しています。

四季折々の風物や行事など適當な写真がありましたらご寄贈下さい。(写真には題名、町村名を付して下さい)なお採否は当方に一任願います。

送り先：全国町村会、広報部